

平成 26 年度第 3 回機器及び安全に関する委員会 議事録

日時：平成 26 年 12 月 19 日（金） 17:30～20:00

場所：日本超音波医学会事務局会議室

参加者（11 名、敬称略）：秋山いわき、馬場一憲、工藤信樹、谷口信行、飯島尋子、石原謙、梅村晋一郎、尾本きよか、鎌倉友男、中谷敏、内藤みわ

事務局：永見

1. 前回議事録確認（資料 1）

- ・ 前回議事録を確認した。

2. 幹事の交代について

- ・ 現幹事 1 年間出向のため、交代を検討したが、審議の結果交代しないこととした。

3. ”The safe use of ultrasound in medical diagnosis”の翻訳について（資料 3）

- ・ 図の英文は原文のままとする。
- ・ 産婦人科学会と解剖学会で妊娠初期の定義が異なる。産婦人科学会の用語集に従うとした。
- ・ PDF にまとめる作業については業者に見積を依頼する。
- ・ 5 月の学術集会までに作業を終えることを目標にする。

4. 音響放射力の生体への影響検討小委員会の報告（資料 4）

- ・ 動物実験の経過報告。

5. 検査環境検討小委員会の報告（資料 5）

- ・ 労働衛生環境所にて照度を検討
- ・ 次年度に被験者を増やして実験を実施予定。次年度予算に追加計上することを了承した。

6. 経膈プローブの消毒法に関する小委員会報告（資料 4）

- ・ 探触子 HPV 汚染の現状調査中。手袋を装着してプローブカバーを取り替えると感染を予防する効果があることがわかった。

7. 第 88 回学術集会におけるパネルディスカッションについて（資料 6）

- ・ 「超音波はどこまで安全か」 5 月 23 日（土） 9：00～10：30 第 9 会場

講演内容

- (1). 音圧の測定 ハイドロホン・光音響手法、光ファイバセンサ
- (2). AIUM CIO(Conditionally increased acoustic pressures)小委員会報告

- (3). 超音波診断の安全性 造影剤と ARFI 関連の安全性
- (4). 超音波治療の安全性 超音波治療機器のガイドライン

8. 今年度活動報告、次年度活動報告について（資料7）

- ・案を承認した。

9. 次年度予算（資料8）

- ・案を承認した。

10. 委員の交代

3月末での鎌倉委員の退任を承認し、それに伴い、4月から電気通信大学野村英之准教授に交代することを承認した。理事会へ提案することとした。

11. その他

- ・ 次回は3月頃に開催予定。後日、日程調整。

以上